

CSR 調達ガイドライン

2019年 5月

大同メタル工業株式会社



(はじめに)

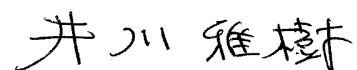
近年企業を取り巻くステークホルダー（顧客、仕入先、従業員、株主、地域社会などの利害関係者の皆様）のCSR（企業の社会的責任：Corporate Social Responsibility）に対する関心が高まっております。大同メタルグループではCSRへの取り組みは企業価値の向上、持続的成長につながるものと考え、重要な経営課題の一つとして推進しております。

現在、当社グループでもCSR活動を行っておりますが、今後サプライチェーン全体で共に持続的な成長を図る上で、CSRの取り組みを果たしていくことが必要と認識しており、「CSR調達ガイドライン」を策定いたしました。お取引様におかれましても、本ガイドラインを参考にいただき積極的な活動を推進いただきますようお願い申し上げます。

なお、当ガイドラインの取り組みについて今後、国際的な動向や、社会的な要請により見直しをして、取り組み強化を図ってまいります。その折は改めて通知の上、展開をしてまいりますので、よろしく申し上げます。

取締役兼専務執行役員（購買担当役員）

井川 雅樹



大同メタルグループの企業理念

1.1 企業理念

1.会社の務(つとめ)

社員の幸せをはかり、地球社会に貢献する

2.会社の心(こころ)

企業倫理を重んじ、活力あるオープンな企業風土をつくる

3.会社の源(みなもと)

常に市場から学び、お客様の信頼に応える

4.会社の途(みち)

創造と革新につとめ、夢に挑戦する

5.会社の志(こころざし)

世界のトライボロジーリーダーを目指し、技術を磨く

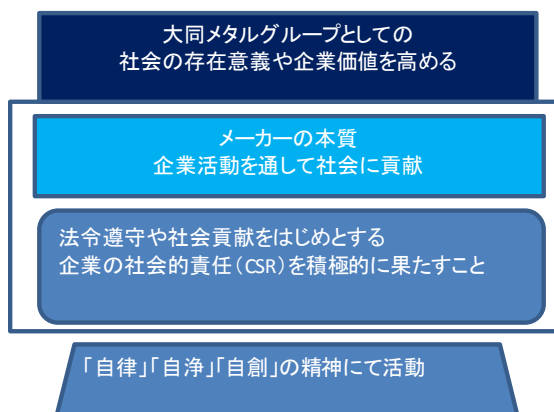
1.2 大同メタルグループのCSRの考え方

大同メタルグループは企業市民として責任ある行動が求められるなかで、大同メタルグループが成長し続けるためには、メーカーの本質である企業活動を通して社会に貢献する役割を持続することはもちろんのこと、法令遵守や社会貢献をはじめとする企業の社会的責任（CSR）を果たし、お客様・株主・従業員・取引先さらには地域社会から信用される企業となることと定義しています。

それらを実践するために当社グループ全社員は「自律」「自浄」「自創」

（自己を律して、自浄作用し、そして自己が創造する）の精神にて活動への定着・推進を図っております。

(イメージ図)



1.3 大同メタルグループ 行動憲章

行動憲章

健全な企業活動の展開

大同メタルグループ(大同メタル工業株式会社および関係会社)は、国際・地域ルール、関係法令および社内規程を遵守し、健全で公正な企業活動を実践し、お客様、株主、社員、取引先、社会等のステークホルダーから信頼される企業となるよう努めるとともに、政治や行政と健全な関係を保ちます。

お客様の信頼に応える製品の提供

大同メタルグループは、社会的に有用で安全な製品を開発・提供し、お客様の満足と信頼を獲得します。

情報開示

大同メタルグループは、株主はもとより、広く社会とコミュニケーションを図り、企業情報を積極的かつ公正に開示します。また、個人情報、顧客情報をはじめとする各種情報の保護・管理を徹底するとともに、適正な財務処理に基づく信頼性のある財務報告を実施します。

人格の尊重

大同メタルグループは、従業員の多様性、人格、個性を尊重するとともに、安心して働ける健康と安全に配慮した職場環境を確保します。

環境の保護

大同メタルグループは、人類共通の財産である地球環境の保護を最重要課題として、信念と技術をもって積極的に取り組みます。

社会への貢献

大同メタルグループは「社会の一員」であることを自覚し、社会貢献活動を推進します。

反社会的勢力に対する姿勢

大同メタルグループは、社会の秩序や企業の健全な活動に脅威を与える反社会的勢力・団体とは断固として対決し、関係遮断を徹底します。

グローバル事業活動

大同メタルグループは、事業活動のグローバル化に対応し、各国・地域の法律の遵守、国際規範、文化、慣習の尊重、ステークホルダーの関心に配慮した企業活動を行い、

当該国・地域の発展に貢献します。

経営トップの責務と問題解決

経営トップは、本憲章の実現のため、具体的な「行動基準」を策定し、社内並びにグループ企業に整備を図るとともに、役員はもとより全従業員への周知徹底を図ります。経営トップは、本憲章の精神に反するような事態が発生した時は自らの責任において問題解決にあたり、原因究明・再発防止に努め、自らを含めて厳正な処分を行います。

1.4 調達活動基本方針

大同メタルグループは購買・調達活動において、大同メタルグループで制定された「企業理念」、「行動憲章」及び「行動基準」に基づいて、関係法令の遵守、公正な取引関係の基で、グローバルな市場から必要な資材・サービス等を適切な品質・価格・納期で調達し、お客様が求める価値ある製品の提供に貢献します。

1.5 当社 CSR 調達の考え方

◆ CSR 活動の推進、コンプライアンス遵守、優越的地位濫用の禁止、適正取引推進実施

① 発注業務に関与する担当者及び管理者は各種講習会の機会を生かし周知・徹底実践する。

② お取引先の CSR 活動実態把握を行う事と啓発に努める。

(ア) CSR の重要性をお取引先にも正しくご理解いただき、お取引様社内及び、関係各社への展開を実施する。

(イ) お取引様へ CSR 活動展開実施においての、方針・ルール・手順を決める事から進めます。

お取引様 CSR ガイドライン

お取引様へのお願い

大同メタルグループでは法令遵守や社会貢献をはじめとする企業の社会的責任（CSR）を認識した事業活動を、自社グループのみならず、お取引様にもご理解いただき、共に発展していくことを目指し、公正な取引の実践と、お取引様との共存共栄をしていきたいと考えています。当社グループがそのような関係を築きたいと考えるお取引様は次の CSR 項目に含まれている項目を積極的に取り組んでおられる企業です。

本内容は当社グループで展開している行動憲章及び行動基準に沿ったものですが、今後、お取引様とのコミュニケーションや社会環境の変化に応じて適宜見直しを図ってまいります。是非、貴社の取組みにご活用いただきたく、ご協力をお願いします。

(CSR 項目)

1. コンプライアンス(健全な企業活動の展開)

(1) 関連法令等の遵守

- ・法に反することはしないことはもちろん、法令・社会的な常識・マナーに従って行動し、社会から非難を受けたり、他人に迷惑をかけたりしないよう注意を払う
- ・会社の就業規則や社内規程、会社方針や業務上の指示・命令を正しく理解して遵守する
- ・交通安全運動に積極的に参加するとともに、交通ルールを遵守し安全運転を心がける

(2) 公正な競争

- ・独占禁止法や各国の競争法を遵守し、競合他社と市場の自由競争を阻害するような販売価格やシェアの取り決め(協定)は行わない
- ・お客様、購入先・協力会社等と適法な契約を取り交わし、それを遵守する

(3) 適正な調達活動

- ・お取引様・協力会社との取引において誠意をもって公正で透明性の高い取引を行う
- ・お取引様・協力会社の法令遵守、倫理、品質安全性、人権、労働、安全衛生、環境保全、情報セキュリティ等にも関心を持ち、適切な取り組みが行われるように努める
- ・購入にあたって独占禁止法・下請法を遵守し、お取引様・協力会社(特に下請事業者)に、優越的地位を利用し特定の条件や不利益を強いるような行為や、不当な取り扱い、特定業者の排除を試みるようなことはしない

(4) 公的機関との関係について

- ・公務員への贈賄行為、あるいはその誤解を受けるような行為を行わない
- ・国家公務員倫理法・同倫理規程、不正競争防止法を遵守し、国の内外を問わず利害関係のある公務員・みなし公務員への贈答・接待を一切行わない

(5) 贈答・接待への対応

- ・社会通念上を超える贈答・接待を受けたり、要求をしない。また、職務を利用して、個人的な便宜を図るような行為は行わない

(6) グローバル事業活動

- ・自分の国の法令だけでなく、現地国並びに現地国間との法令(輸出管理法令・独占禁止法・外国為替管理法等)についても十分な知識を習得するよう努める。また、合弁契約・技術提携契約・役員契約等の基本契約のポイントを把握し、これら基本ルールの遵守に努める

(7) 知的財産の保護

- ・ 会社の知的財産権を速やかに確保・維持・活用することに協力する
- ・ 他人、他社の知的財産(特許、著作物、ソフトウェア等)を無断で使用しない

(8) 情報管理の徹底

- ・ 会社の機密情報(開発、技術、経営、お客様およびお取引様・協力会社様の情報、個人情報、その他内部情報)について、紛失・改ざん・漏えいが起こらないよう適切に管理する
- ・ 会社の情報システム(インターネット、メール等)を私用目的で使用せず、不用意な交信を行わない。職務を通じて得た機密情報は退職後であっても他社に開示しない
- ・ 盗聴・贈賄等の不正な手段で、競合他社、研究開発に携わる人、退職者等から情報を収集しない

(9) 反社会的勢力に対する姿勢

- ・ 社会秩序や健全な企業活動を阻害する恐れがあるあらゆる個人・団体(反社会的勢力)との関わりを一切持たない
- ・ 反社会的勢力からの不当な要求、悪質商法等に対しては毅然とした態度で断る

(10) 紛争鉱物への対応

- ・ コンゴ民主共和国および隣接国で採掘される鉱物資源が武装勢力の資金源となっていることが懸念されており、紛争鉱物問題として認識し、紛争鉱物の使用状況について取引先に調査を実施し、使用が懸念される場合は使用回避に努める

2. 情報開示について

(1) 企業情報の開示について

- ・ 会社情報の適正管理を図り、タイムリーかつ適正な開示を行い企業の透明性を高めるよう努める

3. お客様の信頼に応える製品の提供

(1) 期待や要求の把握と反映

- ・ 一人ひとりが常に市場の声に耳を傾け、お客様のニーズに敏感に反応するという心構えを持つ。
- ・ お客様等からの苦情、問い合わせ等には丁寧、誠実に対応する

(2) 安全・安心

- ・ 社会に貢献できる安全な製品の開発、設計、生産、販売する

(3)品質向上

- ・生産にあたって作業標準を遵守し、品質基準を守って生産を行う
- ・不良率の低減やクレームの撲滅に努め、製品の異常を発見した時は、迅速に処置を施すとともに、異常の原因を突き止め、問題解決の徹底を図る

4.人格の尊重

(1) 人権の尊重

あらゆる事業活動において基本的人権および個人の尊厳を尊重し、人権侵害に加担しないよう努める

(2) 差別の禁止

国籍、人種、民族、肌の色、年齢、性別、性的指向、性自認、宗教、信条、社会的身分、身体的特徴、心身における障がいの有無、政治上の意見等による差別となる行動を一切行わない

(3) 児童労働の禁止

いかなる種類の児童労働も認めない

(4) 強制労働の禁止

いかなる種類の強制労働も認めない

(5) 人身売買の禁止

あらゆる形態の現代の奴隷制や人身売買も認めない

(6) 労働者の権利の尊重

各国・地域の関係法令等に基づき、従業員の団体権、団体交渉をする権利等の労働基本権を尊重するとともに、従業員一人ひとりの多様性を尊重し、能力に応じた雇用、能力開発等の機会を公平に提供するよう努める

(7) 適切な賃金支払いおよび労働時間の管理

各国・地域の関係法令を遵守し、賃金支払いや労働時間の管理を適切に行う

(8) 安全で働きやすい職場環境の確保

セクシャルハラスメントやパワーハラスメント等、人権を侵害するような行為を認めません。また、健康的で安全かつ衛生的な職場づくりに努め、自由闊達なコミュニケーションが行われ、一人ひとりが生き生きと働くことのできる職場環境の確保に努める

5. 環境の保護について

- ・安全や環境に配慮した製品の開発、設計に取り組むとともにその推進に努める
- ・「大同メタルグループ環境方針」及び、具体的ルール(環境法規則、社内規程)に基づいて、開発、設計に取り組むとともに、大気や水の汚染・排水や廃油等の流出防止、騒音対策等を図り環境の保全に努める
- ・省資源・省エネルギー活動に努め、CO2の削減に取り組むとともに、美化・緑化活動等にも積極的に参加する
- ・「もったいない」、「3R(Reduceリデュース:ごみの発生抑制、Reuseリユース:再使用、Recycleリサイクル:ごみの再生利用)」を意識し、不要なものは購入しない、使用可能なものは繰り返し使う、分別廃棄をすすめる等、廃棄物削減を心がける

6. 事業継続計画(=BCP [Business Continuity Plan])の策定

- ・各種緊急事態に備え、通常行う活動や、緊急事態における事業継続のための方法、手段等をあらかじめ取り決め、文書化する
- ・緊急事態やリスクへの対策を継続的に取り組むことで事業継続に影響する緊急事態が発生しても安全を確保しつつ、重要業務を中断させることなく、または中断があっても可能なかぎり短時間で再開させるべく、取り組んでいく

7. 社会への貢献

- ・事業活動において、「企業の社会的責任(CSR:Corporate Social Responsibility)」を積極的に果たし、メーカーの本質である製品ならびにサービスの提供を通じて社会に貢献するだけでなく、その事業活動を行っている地域社会に対しても、企業市民の一員であることを自覚し、その役割を果たすべく適時適切に必要な支援や貢献活動を行う

以上